

自分中心でのなわとびの歴史

by Nob Sato  
2021/11/24

	佐藤宣明の関連 (1955(昭和30年).5.15生)	鈴木勝己さんの関連 (1938(昭和13年).11.15 生)	Mr. Richard Cendali の関連 (1945.11.16生)
		中学2年から毎日なわとびをしている(2016.9.7氏より)	(1965? 19歳)Mr.C's coach suggested to skip a rope football Head CoachのEddie Crowder (Mr.CはColorado大学Boulder校の football player) (1970~) 41 years of teaching and coaching (1970)Mr.C introduced rope skipping to his students at Aurora 7 Elementary School
1971年 (昭和46年)			Mr. Prentup がColorado大学Boulder校に skipping team "SKIP IT"を結成 (当時Mr.Cは26歳)
1973年 (昭和48年)			Officer Ulysses F. Williams of NYPD chose Double Dutch in youth programs
1975年 (昭和50年)	5月:なわとびを開始(20歳)  秋:熊本大学なわとび愛好会設立 (初代会長)	4月:新聞に掲載されていたギネスのなわとびの記録を偶然目にし、「この記録ならず私にも出せる。」と読売新聞の社会部に連絡。(36歳) (アメリカ人Rabbi B. Silbergの記録:4時間14分) 7月22日:5時間11分(48,169回)の世界記録を達成 12月:鈴木勝己著「なわとび健康法」12月5日発行	(1975-2011:Douglass Elementary School) 1975:Mr. Prentupが体育会議でなわとびを紹介 1975:会議の後、Douglassで本格的に教え始めた  1976:Mr Cが"Skip Its"チームを設立 American Heart Associationとコラボして、デモンストレーションチームとして全米、カナダを訪問
1977年 (昭和52年)	秋:鈴木氏を熊谷市のご自宅に訪問		
1978年 (昭和53年)	3月:全日本なわとび連盟会員となる 5月14日:熊本県なわとび愛好会を設立 (会長は内野元氏) 6月:熊本県なわとび愛好会会報の第1号を発行 (昭和55年3月の第8号まで手元に残っている) 7月-9月:YMCA支援によるアメリカ横断旅行に参加し、各地のホームステイ先でなわとびを披露 11月29日:第1回熊本県なわとび大会を開催 11月:鈴木勝己氏の推薦で全日本なわとび連盟指導員となる	4月2日:第3回全日本なわとび競技大会(於:熊谷市) (昭和53年8月1日発行の全日本なわとび連盟会報第1号) (第1回は1976年?鈴木さんの記録達成の後。1979年がまた第1回なのでリセット)	Rope skipping evolved into an organized sport in the late 1970's by Richard Cendali
1979年 (昭和54年)	4月3日:第1回全日本なわとび競技大会 (於:国立競技場霞ヶ丘体育館) 3回旋の部、178回で優勝 5月18日:「小川宏ショー」に出演	1月1日:6時間12分10秒  10月3日:6時間15分15秒  12月9日:6時間30分05秒(56,235回)浜田昭三さん(29歳)が達成	
1980年 (昭和55年)	秋:University of Illinoisの寮で、Mr.Cがなわとびチームを率いてIllinoisを訪問している新聞記事を発表	3月23日:9時間46分01秒(95,267回)の世界記録を達成	Mr.Cが子供のなわとびチームを率いる チーム名は覚えていないが、SKIP ITの可能性大  (35歳)  Mr.C's Rope Skipping Display Team travels through USA and Europe
1981年 (昭和56年)	1月6日:Mr.CをBoulderの自宅に訪問 彼の小学校でteamと一緒になわとび 3月16日:Rabbi SilbergをMilwaukeeに訪問 体育館で彼と一緒になわとび		
1982年 (昭和57年)		今年度よりプロとして身を立てる(氏の年賀状)(43歳) 今年の全国大会(第4回)は無理のようだ(氏の年賀状)	1982:Mr. CがInternational Rope Skipping Organization (IRSO) を設立 1982:International Rope Skipping Championshipsが始まる
1984年 (昭和59年)		6月 コロラド大学で第3回国際競技大会にて5重跳びに挑戦(1985年の氏の年賀状)	
		1987年 第6回国際競技大会(アメリカ)で5重とび世界記録挑戦(10回)	1986:Mr. C&Skip Itsが日本訪問
1992年 (平成4年)		1月5日第12回栃木県大会兼講習会で5重とび世界記録樹立(20回)(53歳)	early 1990's: IRSO split to World Rope Skipping Federation (WRSF) (以下、日本)
2003年 (平成15年)			日本ロープスキッピング連盟(JRSF)設立
2005年 (平成17年)			JRSF主催第1回全日本ロープスキッピング選手権大会
2015年 (平成27年)	10月:日本ロープスキッピング連盟(JRSF)福岡支部(エブリJUMP)加入	鈴木氏の記録 2回旋とび: 10,133回 3回旋とび: 441回 4回旋とび: 98回	
2016年 (平成28年)	Age Jump: 3回旋60回(60歳)2016.2.2達成 12月16日鈴木氏を熊谷のご自宅に2回目の訪問 12月17日12JCで3重とび40回		JRSF主催第12回全日本ロープスキッピング選手権大会(12JC)
2018年		目標:80歳で3回旋80回	
2019年		9月17日逝去(享年80歳)	
2020年	5月15日:時間跳び:1時間46分55秒(15,000回)		
2021年			JJRUへ統合